

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
保育実習指導Ⅲ	2	前期	演習	1	伊達 幸成 牧野 美枝
<p>○ 授業の到達目標及びテーマ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育実習の意義と目的を理解し、保育（支援）について総合的に理解する。</li> <li>2. 既習の知識や技術を習得するとともに、支援等の観察、記録、自己評価等を踏まえ、改善する。</li> <li>3. 支援等の改善について実践や事例を通して学ぶ</li> <li>4. 専門職としての倫理を学ぶとともに、事後指導を通して実習の総括を行い、課題を明確にする。</li> </ol>					
<p>○ 授業の概要</p> <p>保育実習Ⅰの経験から明確になった課題を踏まえて保育実習Ⅲに臨むための知識、技術を習得する。また既習の教科の内容やその関連性を踏まえ保育実践力を総合的に養うことを目的とする。実習後の指導を通して実習の総括をおこない、課題や認識を明確にする。</p>					
<p>○ 授業計画</p> <p>第1回 保育実習Ⅲにおける実習内容の理解と実習手続き</p> <p>第2回 提出書類の提出及び実習目標の設定、事前オリエンテーションの準備</p> <p>第3回 実習先施設の役割と機能</p> <p>第4回 施設における支援の実際（生活支援、生活介護、自立支援）</p> <p>第5回 施設における支援の実際（学習支援、治療的支援、家族に対する支援）</p> <p>第6回 保育（支援）計画の立案と実践（グループ活動）</p> <p>第7回 保育（支援）計画の振り返り（グループ活動）</p> <p>第8回 利用者（子ども）の権利と権利擁護について</p> <p>第9回 施設における連携と協働について（他専門職の理解を含む）</p> <p>第10回 守秘義務と職業倫理</p> <p>第11回 実習事後指導（実習先評価の開示と自己評価、スーパービジョン）</p> <p>第12回 実習事後指導（グループ活動：事例報告）</p> <p>第13回 実習事後指導（実習課題の整理と今後の課題の明確化）</p> <p>第14回 実習報告書の作成</p> <p>第15回 実習総括</p> <p>定期試験</p>					
<p>○ テキスト</p> <p>新保育基本シリーズ⑳ 「保育実習」 公益財団法人児童育成協会監修 中央法規</p>					
<p>○ 参考書・参考資料等</p> <p>「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省、フレーベル館</p> <p>「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省、フレーベル館</p> <p>「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館</p>					
<p>○ 学生に対する評価</p> <p>試験60% 提出物（自己評価、実習報告書）25% 受講態度15%</p>					

